

## IV-4 感性工学の視点によるP I 評価の試み

|                |      |      |
|----------------|------|------|
| 香川大学工学部        | 正会員  | 白木 渡 |
| 愛媛大学工学部        | 正会員  | 二神 透 |
| 国土交通省四国地方整備局   | 正会員  | 池田 清 |
| 日本建設コンサルタント（株） | 〇正会員 | 澤田俊明 |

### 1. はじめに

「四国における市民参加型公共事業の進め方に関する研究会」（以下、「本研究会」と略）は、土木学会四国支部において平成9年6月に発足した「四国社会資本問題研究会」の第一部会として活動している研究会で、本研究会では、市民参加型公共事業の進め方において、公共事業を円滑に進めていく上で、地域住民や関係者の意見、ニーズなどを的確に把握し合意形成を図る手法やルールなどの調査研究を進めている。ここでは、平成13年度に調査研究を行った感性工学の視点によるP I 評価の試みについて報告する。

### 2. 感性工学の視点によるP I 評価の項目の提案

感性工学とは「人間が持っている願望としてのイメージや感性を、物理的なデザイン要素に翻訳し、具体的に設計する技術」<sup>1</sup>のことで、本研究会では、P I 参加者の感性工学的視点に立ち心理学的アプローチをもとに、P I 実施者側からの「感性工学の視点によるP I 評価の項目」（以下、K P I と略記）を表1のとおり提案している。

表 1 感性工学の視点によるP I 評価の項目・K P I（評価主体がP I 事業者の場合）

| 長町によるP I の原理                         | 【第1段階】<br>意識：報提供やきっかけ<br>行動：きっかけ | 【第2段階】<br>意識：理解する場の有無<br>行動：行動の場の有無 | 【第3段階】<br>意識：理解による意識変化<br>行動：行動の結果 |
|--------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| <b>理解度1：</b><br>情報提供－見せる・知らせる        | ●【情報提供・きっかけ】                     | ●【情報発信の場】                           | ●【フィードバック】                         |
| <b>理解度2：</b><br>疑問解消－疑問を持つ・歩み寄る      | ●【疑問解消の情報提供・きっかけ】                | ●【疑問・質問の場】                          | ●【疑問の解消】<br>●【フィードバック】             |
| <b>理解度3：</b><br>自我関与－意見陳述・議論参加       | ●【意見議論のための情報提供・きっかけ】             | ●【意見・議論の場】                          | ●【意見の有無】<br>●【フィードバック】             |
| <b>理解度4：</b><br>アイデア提供－具体案・設計への関与    | ●【アイデア募集の情報提供・きっかけ】              | ●【アイデア募集の場】                         | ●【アイデアの有無】<br>●【フィードバック】           |
| <b>理解度5：</b><br>変化を造る－Self-Designing | ●【参加者による意志決定のための情報提供・きっかけ】       | ●【P I 参加者の意志決定の場】                   | ●【意志決定の有無】<br>●【フィードバック】           |

### 3. 調査

表1に示したK P I の有効性を判断するため、ヒアリング調査を実施した。ヒアリング項目及びヒアリング対象を表2、表3に示す。

表 2 ヒアリング項目

| 設問番号 | 項目                   | 内容                                                                                              |
|------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設問1  | ヒアリング実施者             | 所属、氏名（複数名の場合、複数名記入）                                                                             |
| 設問2  | ヒアリング対象者             | 所属、氏名（複数名の場合、複数名記入）                                                                             |
| 設問3  | 調査対象のP I 物件について      | P I の名称等                                                                                        |
| 設問4  | P I で特徴的な事項や経緯について   | ①「関心層」に関して／②P I の参加者の範囲について／③P I 開始時の前提条件について／④P I に参加、実施して／⑤P I での反省点・改善事項や提案／⑥P I に参加、実施しての感想 |
| 設問5  | 「P I の理解度」についてのヒアリング | 【表1・K P I】を5段階で評価／4：十分な取り組みをした、3：取り組みをした、2：取り組みが少なかった、1：取り組みをしなかった、0：取り組み不明                     |

表 3 ヒアリング対象

| 県      | 開始時期        | 名 称                   | 関係行政         | P I の種類                   | 調査<br>番号 | ヒアリング<br>対象者   |
|--------|-------------|-----------------------|--------------|---------------------------|----------|----------------|
| 香<br>川 | 1997 年 10 月 | 牟礼町まちづくり              | 牟礼町          | 懇談会                       | ①        | 組織団体           |
|        | 1998 年 01 月 | サンポート高松色彩舗装色（レンガ）     | 高松市          | 委員会・アンケート                 | ②        | 行政             |
|        | 1999 年 12 月 | サンポート高松色彩塗装色（防護柵）     | 高松市          | アンケート                     | ③        | 行政             |
|        | 1999 年 04 月 | ボランティア公園づくり           | 善通寺市         | 協議会                       | ④        | 行政             |
|        | 1999 年 04 月 | 歩いて暮らせるまちづくり          | 善通寺市         | ヒアリング、協議会                 | ⑤        | 行政             |
|        | 2000 年 6 月  | 魅力ある商店づくり             | 善通寺市         | ワークショップ                   | ⑥        | 行政             |
|        | 2000 年 9 月  | みんなのたまり場づくり事業         | 善通寺市         | 委員会                       | ⑦        | 行政             |
| 愛<br>媛 | 1995 年 11 月 | 足谷川溪流砂防計画             | 愛媛県          | 委員会                       | ⑧        | 行政             |
|        | 2000 年 04 月 | 光満川河川整備計画検討           | 愛媛県          | 検討会                       | ⑨        | 行政             |
| 高<br>知 | 1994 年 10 月 | 若草南団地の建替を考える会         | 高知県          | WS・学習会                    | ⑩        | 専門家            |
|        | 1996 年 10 月 | ユーザー参加方式による道の駅「四万十大正」 | 高知県          | WS                        | ⑪        | 専門家            |
|        | 2001 年 04 月 | 里山公園つくらんかい            | 高知県          | 委員会・WS                    | ⑫        | 行政             |
|        |             |                       |              |                           | ⑬        | 専門家            |
| 徳<br>島 | 1998 年 08 月 | 新町川河畔光景観プロムナード        | 徳島県          | WS                        | ⑭        | 行政             |
|        |             |                       |              |                           | ⑮        | 専門家            |
|        | 1999 年 10 月 | 小松島港本港地区活性化           | 運輸省、徳島県、小松島市 | 利用企画調査委員会<br>検討委員会、懇話会、WS | ⑯<br>⑰   | 専門家 A<br>専門家 B |

4. 調査結果と考察

ここでは、調査結果の一例として、表 3 のうち「小松島港本港地区活性化事業」における調査番号⑯、⑰の調査結果を図 1、図 2 に示す。図 1 より、「利用企画調査委員会」は、表 1 における「理解度 2」「理解度 3」の取り組みが弱く、「理解度 1」「理解度 4」「理解度 5」の取り組みは十分であったことがわかる。図 2 より、「検討委員会・懇話会・ワークショップ」は、「理解度 5」が弱い反面、「理解度 2」「理解度 3」「理解度 4」の取り組みは十分であったことがわかる。

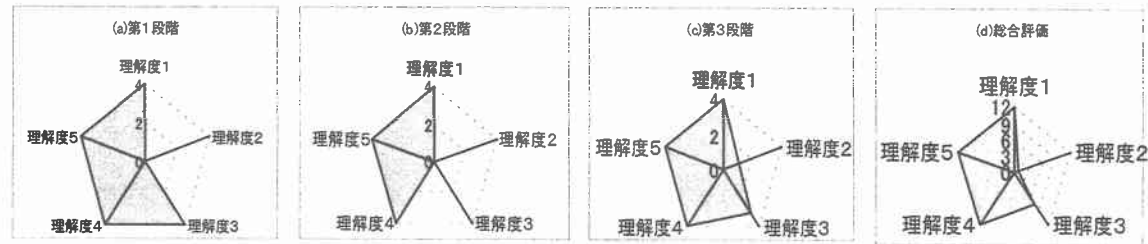


図 1 K P I 調査結果（小松島港活性化：利用企画調査委員会、ヒアリング対象者・専門家 A）

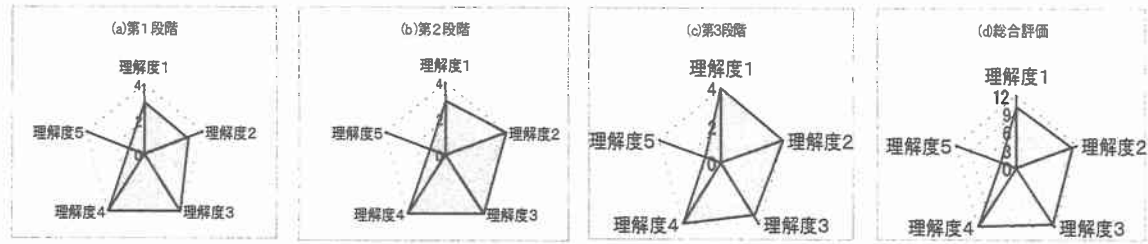


図 2 K P I 調査結果（小松島港活性化：検討委員会・懇話会・ワークショップ、ヒアリング対象者・専門家 A）

5. おわりに

表 1 に示した K P I は、感性工学の視点による人間心理を考慮した、P I 事業者側からの P I 実施における事前チェックリスト等に活用できるものと思われる。

1 長町三生：『感性工学－感性をデザインに活かすテクノロジー』、海文堂、平成元年 11 月 30 日初版・平成 2 年 12 月 25 日 3 版